

資料 1

団体名	1. 部活動の地域移行の可否						2. 活動可能なパターン				3. 地域移行に関するその他特記事項
	①実施できる	②実施する方向で検討中	③実施しない方向で検討中	④実施できない	⑤クラブ化する	⑥その他	①Aパターン	②Bパターン	③Cパターン	④その他	
陸上競技協会						○ 検討中				○	検討中
水泳協会						○ スイミングクラブの選手育成コースを部活と見なし、中体連の大会は学校から出場。臨時顧問は引率のみ			○		協会、少年団指導員では選手レベルの高度な指導を連日続けるのは不可能
サッカー協会		○ 1か所			○ (検討中)		○ (部活動)	○ (クラブ)			
バレーボール協会		○ 3～4か所					○	○			
バスケットボール協会											
ソフトテニス協会	○ 3か所						○	○	○		<p>各地域や中学校によって違い、柔軟性を持たせて地域移行を行いたい。</p> <p>従って各中学校によって可能な活動パターンも違ってきます。</p> <p>ア まず、この意向調査は各競技が南砺市で地域移行も拠点化校も一つであれば書きやすかったのですが、複数の学校で地域移行を行うにはそれぞれで活動パターンが違ったりして非常に書きにくいものだったということをおし添えておきます。</p> <p>イ 会計責任者はソフトテニス協会1名ではなく、部活動単位（城端、福野、福光）に配置していただきたいと思っております。例えば協会の会計責任者が城端の者となった場合、福野や福光で誰がいつどこで地域部活動を行ったのかが分かりません。一々確認するにも会計責任者にとっては大きな負担となりそうです。</p> <p>また、いただいた報酬を分けるにしても毎月会うこともなく、振り込みをしたりするなど手間が増えると思っております。報酬については曖昧にせず、正確にした方がいいと感じています。従って大変お手数ですが各部活動単位での会計責任者設置を希望いたします。</p> <p>ウ 「スポーツ少年団改革プラン2022」（案）のこともありますし、最終的には総合型地域スポーツクラブの指定管理料を多少増やしてでも各地域の総合型地域スポーツクラブに各地域部活動の会計責任者の事務を依頼された方がいいように感じています。</p> <p>エ 現在毎月中学校に提出しなければならない「地域スポーツ活動指導日誌」の締め切り日を変えて頂きたいです。現状では毎月26日頃までの提出になっていますが、月末分については抜けてしまったり翌月に持ち越したりと非常に曖昧な現状があります。例えば毎月20日閉めにして26日まで提出とか、月ごとに集計が必要であれば月末締切の翌月の5日まで提出とかにして頂きたいです。指導謝金を支払うのであればこういったこともきちんとすべきだと思います。ましてや今後各競技団体等に任せるのであれば尚更です。</p> <p>オ 地域移行については生徒と指導者の保険関係等を文章で明確にして頂くと共に責任の所在もはっきりとさせ、指導者・生徒・保護者等関係する全ての方々に周知して頂きたいと思っております。やはり一番心配なのは事故やケガ等が生じた場合です。地域部活動であるから全て指導者の責任とかと言われても、貴重な時間を割いて部活動指導を行って頂いている指導者にとってはとても辛いものがあります。</p>
卓球協会	○ 2か所							○			
野球協会		○ 2か所						○	○		指導者のみで平日2回は現実的に不可能
柔道会		○ 2か所							○ 19:00～		
ソフトボール協会						○ 協会内に対応できる指導者がいないが、拠点化となるよう検討していただきたい					
バドミントン協会	○ 2か所							○			
剣道協会	○ 2か所							○	○		部活動を地域移行とした場合、指導体制は可能だが、中体連主催の試合への出場を可能にすることが重要。（特に、県大会、北信越、全中等）
なぎなた連盟		○ 1か所						○			
スキー協会	○ 2か所					○ アルペン地域スキーチームに所属して個別に活動	○	○	○		アルペンとクロスカンントリーで実施方法異なる。
吹奏楽	○ 2か所								○		

団体名	4. 拠点部設置の場所				5. 男子部、女子部の設置方法				6. 拠点校化に関するその他特記事項
	①希望設置場所は未定	②決まっている	第1希望	第2希望	第3希望	①希望設置方法は未定	②男女とも同じ地域(中学校区)で設置	③男女は別の地域(中学校区)で設置	
陸上競技協会	○						○		クラブに所属していても中体連の大会に出場可能を続けてほしい。 外部コーチの待遇をよくしてほしい。全国大会に行ったら競技場に入れなかった。 コーチの高齢化が進み、先が不安。
水泳協会		○	城端	福光			○		スイミングクラブに依存するため、拠点校化不要とも思われる
サッカー協会	○						○		サッカーに関しては、拠点校化とクラブ化の二刀流で行きたいと思いますが、施設利用の確保と費用と指導者の謝金(交通費)などをどうしていくのか、市の対応が見えないので、協会も決めかねている状況です。サッカーは、クラブチームをつくと拠点校化はなくなる可能性もあります。早急に市の補助的などところを出していただかないと、話を先に進められない状況ですので、各協会とヒアリングの機会をつくっていただきたいです。
バレーボール協会	○					○			
バスケットボール協会		○	男:福野、吉江 女:福光、井波					○	
ソフトテニス協会		○	城端中	福野中	福光中		○		ア 第2次南砺市公共施設再編計画では旅川テニスコートが長期(前期)に維持しないとなっています。福野地域でソフトテニス拠点校になった場合、旅川テニスコートを維持すべきではないかとの意見に対して、回答書では「現在、部活動のあり方検討委員会で検討されています。そこでの議論の結果を踏まえて判断していきます。」とのことです。福野地域には現在スポーツ少年団もあり、部活動も男女ともありますので、もし旅川テニスコートを廃止とするのであれば、代わりに部活動やスポーツ少年団活動の出来るテニスコートの整備に努めて頂くことを強く要望いたします。 イ 可能な活動パターンのBやCパターンではどうしても施設使用料とは別に照明代が発生いたします。体育館使用の部活動はどれだけ照明を点けようが照明代が発生しませんが、テニスコートや屋内グラウンドを使用した場合には照明代が発生いたします。こういったことも考慮して頂き、少しでも生徒の負担が少なくなるような施策をお願いいたします。 ウ 例え地域移行や拠点校化を進めたとしても、これだけ子どもの数が激減していく中で必ず2学年併せても団体戦に単独校で出場出来ないといった問題が早いうちに次々と出てくる可能性があると思います。この場合のある程度のルールも作っておく必要性を感じています。日頃地域でお世話になっている関係もあり、中学校から〇〇部は部員募集停止とは中々言えないといった意見もあります。部員募集停止のある程度の基準の必要性を感じています。 エ 中・長期スケジュールではモデル種目の地域部活動実施は令和4年度から、拠点校化(2次)実施は令和5年度から、拠点校化(最終)実施は令和6年度からの実施となっています。この時には既に部活動のあり方検討委員会は解散した後であります。こう言ったこともあり、今のうちに大体の基準を作っておくべきだと考えます。 既に2学年併せても単独校で試合に出場出来ないモデル部活動もあるように耳にしています。 また、学校のあり方検討委員会のように、近い将来再び部活動のあり方検討委員会を開催する可能性があるのかも含めて検討していただき教えていただきたいと思っております。
卓球協会		○	福野中、吉江中				○		
野球協会		○(希望)	城端中	吉江中			○		部活動として活動するには、拠点校とし、顧問を設置する。 クラブ化するのであれば、拠点校は必要なし。
柔道会	○						○		交通(移動)手段の確保が必要
ソフトボール協会		○	吉江中						
バドミントン協会		○	福野中	南砺つばき			○		
剣道協会	○						○		城端中は男子のみ、福野中は男子1名と女子、井波中は男女の部が活動しており、既に福光から井波中へ転校し剣道部へ入部を希望している新入生もいることから、早急に拠点化が必要と考えるが、拠点校とするには協会内でも協議が必要。
なぎなた連盟		○	福野中				○		
スキー協会	○					○			
吹奏楽		○	福野(福野、井波、井口)	福光(吉江、福光、城端)					拠点化については福野中が望ましいと思っております。理由とすれば小学校の活動が今も続いていること。地域住民に吹奏楽経験者が非常に多いこと。過去の実績等。但し拠点化を1つにするのではなく2つできるのではないかと思います。吹奏楽はスポーツとは異なる側面があります。コンクール等の各種大会もあります。演奏会や地域行事への参加、福祉施設等への演奏等など、勝ち負け以外の活動も多くあることから子どもたちの多くの学びに繋がると考えています。また全員がレギュラーメンバーとして大会等に参加できるのは大きな特徴です。 指導者については、指導実績のある先生がおられますが、未来永劫続くわけではありません。指導者の情熱だけでは厳しい部分もあり、ムジカグラウト氷見のように組織的な活動をしていく必要があるのではないかと思います(クラブチーム化も視野にいれていく) 具体的には以下の通り ・吹奏楽部は南砺市内で2か所に拠点を置く(福野、福光) ・地域内の指導者で組織を作り、指導者は南砺市在住に限らず指導できる体制を構築する ・活動は通常の時間は厳しい。平日18~20時で活動する(週3回)+週末1回 ・拠点校に顧問も指導者としてその時間指導に当たれるようにする(やりたい指導者の活躍の場を設ける)